

事業所名 グループホーム 福寿草作成日: 平成 30 年 10 月 21 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	17年が経過してグループホーム独自の理念が形骸化し、職員一人ひとりが理念の意義や目的を理解出来ていないので、今後の課題としていく。	週1回位は朝の申し送り時に出勤職員で理念を唱和し、日常介護の中で理念の実践が出来ているか確認していく。	12ヶ月
2	3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議に家族の参加がないので、家族が参加しやすい日時を聴き取り、家族の意見や要望が話し合える会議を実践し、家族同士の信頼関係を築いていく。	行事や活動を兼ねた家族交流会を年に数回開催し、家族と利用者がゆっくり話し合える時間を提供し、職員と信頼関係を築き、家族間の悩みや心配事にも対応出来る関係を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。